

令和6年12月度 本 部 通 信

本部全体会議該当役員殿
担任部長、副担任部長殿
支 部 長 殿

解 脱 会
理事長 岡 野 英 夫

◎ 令和6年度 褒賞について

以下の圏域、教区、支部が御生誕祭において褒賞授与されます。

圏 域	優秀賞 東京圏域	敢闘賞 北関東圏域
教 区	優秀賞 新潟教区	敢闘賞 東北第二教区
支 部	優秀賞 福山引野支部	敢闘賞 新潟葛塚支部、南新宿支部

◎ 立教100年記念事業勧募について

※詳細は添付の『解発第2439号』〔令和6年12月1日付通信〕をご参照ください。

※立教100年記念事業勧募 納入関連資料 <支部のみ>

◎ 『令和7年度 本部布教活動方針』

※各支部へ正会員数分を同梱。

◎ 令和7年度初頭における諸行事について

元 旦 祭：1月1日（水・祝）11:00 御靈地

※五色うどん・お汁粉等の接待を予定しております。

新年初会：1月5日（日） 13:00 各直轄道場

節 分 会：2月1日（土） 御靈地道場・札幌道場・湘南道場・中部道場

関西道場

：2月2日（日） 本部道場

◎ 第86回 太陽精神碑建立記念祭について

と き：令和7年2月11日（火・祝）

と こ ろ：御 粛 地

行事日程：奉 告 祭 8:45（於太神社殿、他） 参列：理事参与以上

第一部 太陽精神碑前之儀 10:00（精神碑前） 参列：支部長以上

第二部 太陽精神碑建立記念祭式典 11:15（於御靈地）

※詳細は添付の『解発第2440号』〔令和6年12月1日付通信〕をご参照ください。

※『宿泊申込書』<支部のみ>

※『参加報告書』<支部のみ(別紙)>

◎ 『副食を献じる運動』 ジャパンハート年次報告書の送付について

※同封の冊子をご覧ください。

◎ 第85回 三聖地巡拝について

期 間：令和7年4月1日（火）～3日（木）

参 加 費：Aコース＝66,000円（東京駅発着）

Bコース＝46,000円（伊勢外宮発、京都駅着）

Cコース＝47,000円（京都駅バス発着、伊丹空港バス発着）

Dコース＝35,000円（教区バス参加 ※要別途バス代）

申込締切：令和7年2月15日（土）※本部総務部（経理）必着

※詳細は添付の『解説第2441号』〔令和6年12月1日付通信〕をご参照ください。

※『参加申込書』（裏面：太々神楽御祈祷大麻申込者名簿）<支部のみ（別紙）>

【内務局】

① 解説金剛奉賛会新入会及び入金状況について（10/1～31）

新入会	前月同期	合計
1名	2,118名	2,119名
1口	2,148口	2,149口
入金状況	1,475件	¥16,020,000. -

【お知らせ】

◆ 令和6年12月度行事及び出講者について

※詳細は添付資料をご参照ください。

◆ 12月3日（火）道場閉館について

全職員研修開催のため、御靈地、本部道場をはじめ各直轄道場を閉館いたします。

◆ 解説会ホームページ

会員パスワード：0676（令和6年9月～令和7年2月末まで有効）

令和7年度 本部布教活動方針

刷新—信仰から真行へ 立教100年に向けて“創業の飛躍”を

長 期化する紛争、多発する大規模な自然災害、さらに疫病のパンデミックに対する不安など、以前では考えもしない事態が現実となっているのが現代です。紛争や疫病などの現象は、神の存在とその恩恵を忘れたところに原因があります。本会では、この点を踏まえて、今年度も「世界人類怨親平等供養」を実施していきます。

本会全体としては、圏域制度をさらに前進させ、圏域から選任された圏域責任者・理事と各教区長を中心に、地域の特徴に合わせて、教区・支部の活性化のための活動、特に人材の登用を進めます。

さらに昨今、頻発する自然災害について、「災害は起こるもの」と想定して、公開されている防災マップなどを参考に、避難経路や緊急連絡網などの防災・減災準備を整え、発災時にも的確に行動できるよう備えることで、会員の生命を守ることを圏域・教区・支部の重点目標の一つとします。

さて、本部布教活動方針の「刷新—信仰から真行へ」とは、“感謝”の心を“報恩”的行いとして実践することであり、教えによって得た感激や感動を力にかえ、「お返しの心」で世のため人のための行動に移していくことです。そこに人格の高揚と刷新が生まれます。また「創業の飛躍」とは、金剛さまをはじめとした先人先覚者が遺された御五法修業や六大事など尊い遺産と捉え、その意義を再確認し、今を生きる人々の救いや指針となるように改めて活用していくことで、それが現代を生きる私たちの使命です。

令和10年・立教100年を目指し、金剛さまの大理想を掲げて、実践活動に努めてまいりましょう。

「令和7年度・活動実践の重点項目」

①在家宗教の意義を修験実証する

「在家朝夕のご挨拶」（勤行）と天茶供養の徹底

支部への足運びと個人勉強

お淨めの徹底

茶話会活動の推奨

②青少年育成に取り組む

青年部活動への協力

支部青年会につなげる多角的な学びの場づくり

③女性活動を推進する

若い女性の学びの場づくり

女性リーダーの育成

私たちを生かしてくださる神先祖を尊び、感謝の念を持って生きることは、健全な家庭や社会を築く基本です。現在の日本の平和と繁栄をもたらした日本人らしい精神伝統も、敬神崇祖・感謝報恩の生活の中で培われたものです。毎朝夕のご挨拶（勤行）は、自分づくり、家づくり、日本精神の涵養の基本です。

日本社会は多様な生き方が許容される社会であり、特に自分の特性を發揮して“自分らしく生きる”ことは多くの人が願うところです。一方、個人の願いや悩み苦しみもまた、多様化しています。多様化するニーズや悩みなどに応えるために必要となるのが、個別に対応し解決していく「個人勉強」です。より自分らしく生きていくための個人勉強、家族が幸せになるための個人勉強を活動実践の重点項目とします。

変化する社会情勢の中、閉塞感や不安感を抱く人が増えています。本会では、この変革の時期を心穏やかに生活できるように、新たな規定に基づき御秘法の授与数を増やし、お淨めの実践を徹底してまいります。

また家庭においては、縁ある人をお誘いし、教えを伝えて共に学ぶ「茶話会」と、家族で学びを消化吸収して二世に教えを伝えるための「家族茶話会」の二つの茶話会を開くことを勧めてまいります。さらに、今後の子育て世帯の中心となる夫婦共稼ぎ世帯を対象に、現状を明確に認識した上で、み教えに照らした新たな家庭づくりの基本を提示してまいります。

立場や年齢を越えて交流できる青年部活動は、多種多様な価値観に触れる成長の機会です。青年講座やこども会には、青年や子供を送り出すだけではなく、親子・家族ぐるみで参加し、学びの癖付けができるよう青少年の育成に努めましょう。

さらに支部青年会の充実を目指して、教学的学びや御五法修業の実修、家庭や夫婦の在り方の基本などを学ぶための教区青年会や各種研修などを、青年部役員と連携を取りつつ、教区青年担当や女性部役員がアドバイザーとなって開催してまいります。

圏域や教区で活発な活動が行われている女性活動においては、現行の活動を続けると共に、若い女性の学びの場を具体的に設けることを本年も継続して行ってまいります。また、次代の女性部を担う人材を各地で発掘し、教区や圏域などの活動に企画・運営の両面で参加していただき、指導や教育の資質のある人を育ててまいります。

解 脱 会
理 事 長

立教 100 年記念事業勧募について

標記の件につき、下記の通り実施いたします。立教 100 年を奉祝し、会員の真心を結集していただけますよう、宜しく願い申し上げます。

記

1. 目 的

令和 10 年立教 100 年を迎えるにあたり、以下の事業を行います。

- ① 御靈地太神社殿・五智如來堂・御守護大神社・塔碑修繕事業及びお山内祭典用備品収納庫建設事業
- ② 黒姫農地土壤改良及び天茶工場設備拡充事業他
- ③ 供養札木地製作所建設工事

2. 期 間

令和 7 年 1 月 1 日～令和 9 年 12 月 31 日

3. 勧募の方法

- ① 会員からの勧募金を取りまとめ、経理部「納入書」中段の「立教 100 年事業勧募金」欄に金額を記載して、本部に納入します。

※後ほど、支部定期便にて 「立教 100 年事業勧募金」欄を印刷した経理部「納入書」 を支部定期便にて送付しますので、ご活用下さい。

※今回、各支部に以下のものを送付します。

●経理部「納入書」記入例

●「立教 100 年記念事業勧募金 整理表」

支部での取りまとめにご活用下さい。なお、解脱会ホームページ（支部長専用ページ）に演算式入りの整理表（EXCEL）を公開します。

●会員用封筒作成用原稿

コピーして市販の封筒に貼り付けてご利用いただけます。

また、本部にて印刷済の会員用封筒を用意致します。初回は教区長が取りまとめ、次回以降は支部ごとに本部・総務部にご請求頂ければ、直近の支部定期便にて支部へ送付します。

4. その他

- ① 本勧募金は個人の所得税確定申告において寄付金控除を受けられません。
- ② この勧募は金剛さまへ感謝の誠を捧げるもので、決して強要するものではありません。

経理係「納入書」

年 月 日

(経常部)

コード	種 別	金 額
6000	正会員会費 (月分) 200円×世帯	
6001	賛助会員会費 (月分) 200円×世帯	
6010	新入会費 300円×世帯	
6020	例会感謝金 (月分)	
603_	感謝金	
	代参感謝金 (建碑祭・巡拝・大祭・年祭・御生誕祭)	
6042	斎祀感謝金	
6051	基本五基 3,000円×組	
6052	準基本二基 1,000円×組	
6053	祖靈供養札 1,000円×基	
6054	諸靈供養札 500円×基	
6060	萬部供養 500円×靈	
6071	御祭神札 大 10,000円×体	
2	御祭神札 小 7,000円×体	
4	御供養塔(八角塔) 大 15,000円×基	
5	御供養塔(八角塔) 小 8,000円×基	
6	御靈祭(御位牌) 15,000円以上×基	
7	棟木札 20,000円×体	
8	諸札拝受申請書(ピンク 小計①の金額)	
9	諸札拝受申請書(黄色 合計の金額)	
	小 計 (1)	

必 要 書 類・摘 要
会員名簿登録用紙 身守= 大・小
明細書(氏名・摘要)
代参名簿
斎祀感謝金明細書
祖靈供養札申込書・デジタル
諸靈供養札申込書・デジタル
祖靈供養札申込書・デジタル
諸靈供養札申込書・デジタル
申込報告書・申込書・デジタル
御祭神札申込書
諸靈供養札申込書・デジタル
棟木札申込書・デジタル
諸札拝受申請書(ピンク)
諸札拝受申請書(黄色)

116	解脱金剛奉賛会費		
317-10	三聖地巡拝費(4月1日-3日)・大麻		
317-11	泉山護持会費 10万口・5万口・篤志		
317-12	宿泊・食事代(建碑祭・大祭・御生誕祭)		
317-18	御生誕祭献灯		
319	義援金		
321	副食を献じる運動預り金		
118	立教100年事業勧募		
	小 計 (2)		

会費納入書
巡拝申込書
会員払込通知書・氏名
宿泊申込書
献灯申込書
『立教100年記念事業勧募金』の行に、その月の合計額を計算して記入してください。

(事業部)

コード	種 別	金 額
124	解脱誌代(月分) 150円×冊	
123	事業部商品の注文代金・請求書(コードC)	
500-606	諸札拝受申請書(ピンク 小計②の金額)	
100-601	誌友会	
	小 計 (3)	

※ 汗又欄
天茶()
※電話等で注文の場合記入不要

合 計 (1) + (2) + (3)	
---------------------	--

支部コード

支 部

受 領 印

令7.1.1

(令和 年)

立教100年記念事業勸募金整理表

NO.

(単位:円)

(令和 年)

立教100年記念事業勸募金整理表

NO.

(単位:円)

立教 100 年記念事業勧募金

支部

氏名 _____

No	日付	勧募金額	累計	受領印
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

No	日付	勧募金額	累計	受領印
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				

この勧募は金剛さまへ感謝の誠を捧げるもので、決して強要するものではありません。

令和 6 年 11 月 27 日

教区長 各位

解脱会 内務局長

立教 100 年記念事業勧募「会員用封筒」初回申込について

標題の件について、貴教区の各支部の必要数を取りまとめて、別紙にて本部へ報告をお願いします。

提出期限 令和 6 年 12 月 15 日（日）必着

※最近の郵便事情により郵送の場合は早めに送付願います。

報告先 解脱会 総務部

〒160-0007 東京都新宿区荒木町 4

FAX： 03 (3353) 3055

e-mail : soumubu@gedatsu.or.jp

別紙

立教 100 年記念事業勧募「会員用封筒」初回申込数の報告について

解 脱 会
理 事 長

第86回 太陽精神碑建立記念祭について

恒例の太陽精神碑建立記念祭式典を下記の通り斎行いたしますので、会員各位にもれなくお伝えの上、参加されるようご指導ください。

記

- と き 令和7年2月11日（火・祝）
- と こ ろ 御 靈 地
- 式典順序
 - 8:45 奉 告 祭（於お山） 理事参与以上参列
 - 10:00 第一部 太陽精神碑前之儀（於精神碑前）
 - 11:15 第二部 太陽精神碑建立記念祭式典（於お山）
 - 引続き 第三部 直 会（於お山）

1. 『参加報告書』について

- (1) 同封の『参加報告書』に必要事項を記入の上、受付にご提出ください。
- (2) 当日参加者の記念品について
式典当日、御靈地式典会場において各自に記念品を配布致します。
- (3) 代参者の記念品について
都合により式典に参加できない会員の至誠献納奉告の方法として『参加報告書』に『代参者芳名簿』を添付しましたので、式典当日受付にご提出ください。記念品を配布致します。

2. 宿泊の申込みについて

宿泊の希望人数を支部で取りまとめて、添付の『宿泊申込書』と『経理部納入書』（宿泊代欄）に必要事項を記入し、代金を添えてお申込みください。

- ・宿泊代（朝食付）1泊：3,000円
- ・宿泊代金を振込の場合
金融機関の振込領収書をもって領収書とさせていただきます。
- ・申込締切 令和7年1月20日 本部（経理）必着
※宿泊当日は午後5時～10時までに受付をお済ませください。

3. バス及び自家用車による参加について

- ・バスでお越しの教区・支部は、到着予定時刻も併せて1月20日までに総務部へご連絡ください。バスは（第3駐車場）に駐車してください。
※原則として、バス乗務員の休憩及び仮眠所は各自で手配ください。

- ・自家用車でお越しの方は、所定の駐車場（第1、東、第2、第4の各駐車場）をご利用ください。
- ・早朝に到着する方は、道場南側にある『会員休憩所』をご利用ください。
休憩所の開場時刻は6時です。

◎建碑祭に関する問合せ : 解脱会総務部
TEL 03-3353-2191

第86回 太陽精神碑建立記念祭 宿泊申込書

申込日 月 日

教区名 : _____

支部名 : _____

支部コード : _____

宿泊	日	男性	女性	計	一泊 (朝食付)	金額計	備考
	10日				¥3,000		
合計					¥ _____		

1. 申込方法 : 下記必要事項に明記し、『経理部納入書』に申込内容を記入の上、代金を添えて本部（経理）にお申し込みください。

2. 申込締切 : 1月20日必着

3. 朝食 : 宿泊代金に朝食代が含まれています。

4. 宿泊受付 : 研修センタービル

※受付時間は午後5時～10時。

午後10時以降に到着される場合は、以下までご連絡ください。

研修センタービル TEL : 048-592-8881

5. その他 : ①夕食は各自でお取りください。

②2月1日以降のキャンセルについては返金致しません。

※郵送される場合は、支部控用にコピーをお取りください。

第86回 太陽精神碑建立記念祭

參 加 報 告 書

教区

支 部

○ 参 加 者 名

支部コード :

○ 代 参 名 合計金額 円

計名

合計金額

八

記

1 『参加報告書』について

上記『参加報告書』に必要事項を記入し、式典当日、受付にご提出ください。

2. 都合により参加できない会員の至誠献納の志は、裏面の『代参者芳名簿』に記載し、式典当日、受付にご提出ください。記念品を授与いたします。

3. 『代参者芳名簿』は御神前並びに解脱金剛尊者の大前にお供えして、ご芳志を奉告申し上げます。

※ 各支部において代参者の『控』を作り、記念品の授与に支障のないようにしてください。

※ 『代参者芳名簿』の追加が必要な場合は、コピーをしてください。

建碑祭代参者芳名簿

No.	御芳名	金額
1		円
2		円
3		円
4		円
5		円
6		円
7		円
8		円
9		円
10		円
11		円
12		円
13		円
14		円
15		円
16		円
17		円
18		円
19		円
20		円
21		円
22		円
23		円
24		円
25		円

解 脱 会
理 事 長
内 務 局 長

第85回 三聖地巡拝について

恒例の三聖地巡拝を下記に基づき執り行います。尊者の御精神に則り、日本国民の代表として巡拝行をいたします。

我が国は幾多の苦難の時代を経たとはいえ、御皇室を中心として建国以来2700年近くもの間、一つの国として継続し、平和国家として発展を続けてきた現在の日本のすがたは、有史以来世界でも類を見ない、奇跡的な形であると考えられます。

三聖地巡拝を通して、私たちが心より、この国の無量の恩に感謝を捧げるとともに、世界平和を祈願することは、誠に意義あるものと言わざるを得ません。

支部会員はもとより、この巡拝の意義に賛同される方々を法縁者としてお誘いいただき、今後国民行事として展開させていただきたいと思います。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

参加申込にあたりましては、『三聖地巡拝申込書』(別紙※支部のみ)並びに『経理部納入書』(三聖地巡拝欄)に必要事項を記入の上、参加費を添えて支部毎に本部までお申込みください。

記

1. 費用及び行程

(1) Aコース (東京駅より) 1人：66,000円

- ・4月1日 (火) 東京駅－名古屋駅－伊勢 (外宮参拝)－鳥羽泊
- ・4月2日 (水) 伊勢 (内宮参拝)－橿原神宮 (参拝)－京都、滋賀泊
- ・4月3日 (木) 泉涌寺－三宝院－京都駅－東京駅(解散)
○宿泊＝2泊 (鳥羽・京都) 夕・朝食付 ○弁当＝3食 (1日～3日の昼食)

(2) Bコース (伊勢神宮外宮：現地集合) 1人：46,000円

- ・4月1日 (火) 伊勢 (外宮集合、参拝)－鳥羽泊
- ・4月2日 (水) 伊勢 (内宮参拝)－橿原神宮 (参拝)－京都、滋賀泊
- ・4月3日 (木) 泉涌寺－三宝院－京都駅(解散)
○宿泊＝2泊 (鳥羽・京都) 夕・朝食付 ○弁当＝2食 (2日、3日の昼食)

(3) Cコース (京都駅、伊丹空港発着) 1人：47,000円

- ・4月1日 (火) 京都駅前11時バス出発予定 (駅前集合)－伊勢 (外宮参拝)－鳥羽泊
- ・4月2日 (水) 伊勢 (内宮参拝)－橿原神宮 (参拝)－京都、滋賀泊
- ・4月3日 (木) 泉涌寺－三宝院－京都駅または伊丹空港(解散)
○宿泊＝2泊 (鳥羽・京都) 夕・朝食付 ○弁当＝2食 (2日、3日の昼食)

(4) Dコース（教区バス参加 ※要別途バス代） 1人：35,000円

- ・4月1日（火）伊勢（外宮集合、参拝）－鳥羽泊
 - ・4月2日（水）伊勢（内宮参拝）－橿原神宮（参拝）－京都、滋賀泊
 - ・4月3日（木）泉涌寺－三宝院－京都駅（解散）
- 宿泊＝2泊（鳥羽・京都）夕・朝食付 ○弁当＝2食（2日、3日の昼食）

2. 内宮太々神楽御祈祷大麻

◎帛料 1体：金3,000円

大麻を希望する方は、『大麻申込書』（『三聖地巡拝申込書』の裏面）にご記入の上、帛料を納めてください。

※申込締切日以降の受付はできませんので、ご了承ください。

3. 申込締切日（巡拝参加・大麻とも）

◎令和7年2月15日 本部必着

☆参加費を振込む場合、金融機関の振込領収書をもって領収書とさせていただきます。

4. 注意事項

(1) A・Cコース以外の方は、4月1日午後3時20分までに伊勢外宮前広場にご集合ください。

(2) やむを得ず参加できなくなった場合は、必ず同性の代理を参加させてください。

※男女の変更は宿舎部屋割の混乱のもとになりますので、必ず本部（総務部）までご連絡ください。（※無断で変更しないでください）。

(3) 出発に際しては、支部及び集合場所等において出発式を実施してください。

(4) キャンセル料

①3月15日以前のキャンセルは参加費全額返金します。

②3月16日～3月29日のキャンセル料は参加費の50%となります。

③3月30日～当日のキャンセル料は100%となります。

※新幹線をご利用の場合は、2月末日までは参加費全額を返金、3月1日～29日のキャンセルは参加費より新幹線料金を除いた金額を返金します。

◎巡拝に関する問合せ：解脱会総務部

TEL 03-3353-2191

FAX 03-3353-3055

三聖地巡拝取扱旅行業者

（株）ドリーム観光サービス

国土交通大臣登録旅行業第2号

第85回三聖地巡拝 申込書

教区

支部

支部コード

各コース：Aコース→東京より（66,000円）

Bコース→伊勢より（46,000円）

Cコース→「京都駅」または「伊丹空港」よりバス（47,000円）

※Cコースの方は「備考欄」に出発地（「京都駅」か「伊丹空港」）を必ずご記入ください。

Dコース→教区バス参加（35,000円）※別途バス代

子供割引（小学生以下）：①→お子様ランチ7,000円引き ②→食事、布団無し10,000円引き

飲物欄は 日本酒=a ビール=b ウーロン茶=c と記入してください。※未成年はウーロン茶のみ

氏名	性別	コース	年齢	飲物	子割	金額	備考
(例) 1 ○田 太郎	男	A	50	a		¥66,000	
(例) 2 △川 祐子	女	C	40	c		¥47,000	伊丹空港
①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
⑦							
⑧							
⑨							
⑩							
⑪							
⑫							
⑬							
参加人数 男性（ ）名 女性（ ）名 合計（ ）名						計 円	
旅館での飲み物 日本酒（ ）名 ビール（ ）名 ウーロン茶（ ）名							
太々神楽御祈祷大麻申込 1体：金3,000円 （ ）体 （ ）円							
合計納入金額（ ）円							

申込締切 2月15日（本部必着）

※1 申込者数が多い場合は本書をコピーしてご利用ください。

※2 内宮大麻をご希望の方は裏面の名簿に氏名をご記入ください。

※3 旅館での飲み物は各支部で責任をもってお配りください。

※4 未成年の方の飲み物は必ずウーロン茶をお申し込みください。

※5 参加費の入金は、『経理部納入書』にて支部ごとに納入してください。

太々神樂御祈祷大麻申込者名簿

※合計体数と納入金額は表面に御記入下さい。

令和6年12月度 行事及び出講者

【本部道場】

行 事	日	時 間	出 講 者
報 恩 日	1	13:00~15:00	早川 廣美
感 謝 日	15	13:00~15:00	西村 晴雄
青 年 講 座	1	10:00~12:00	宮崎 太朗
修 法 相 談			

※修法相談を希望される場合は教務部に問い合わせて下さい。教務部：03-3353-3706

【御靈地道場】

行 事	日	時 間	出 講 者
報 恩 日	1	13:00~15:00	井上 公郎
感 謝 日	15	13:00~15:00	宮坂 保徳
青 年 講 座	1	10:00~12:00	村津 孝徳
修 法 相 談	2、6~9、 13、16		
健 康 相 談	金・土・日・月 (火・水・木 は休み)		

※修法相談は、右記へお申込み下さい。教務部 修法係：048-591-2526 教務部：03-3353-3706

※健康相談は、右記へお問い合わせ下さい。教務部 健康指導係：03-3353-3667

【札幌道場】

行 事	日	時 間	出 講 者
報 恩 日	1	13:00~15:00	西村 晴雄
感 謝 日	15	13:00~15:00	山本 吉朗
青 年 講 座	1	10:00~12:00	岡野 孝行
修 法 相 談	12月は行われません		
健 康 相 談	12月は行われません		

※修法相談を希望される場合は札幌道場にお問い合わせ下さい。 札幌道場：011-711-0570

【湘南道場】

行 事	日	時 間	出 講 者
報 恩 日	1	10:00~11:30 13:30~15:00	倉田 正治
感 謝 日	15	10:00~11:30 13:30~15:00	早川 廣美
青 年 講 座	1	10:00~12:00	小澤 雅樹
修 法 相 談	12月は行われません		
健 康 相 談	12月は行われません		

※修法相談を希望される場合は湘南道場にお問い合わせ下さい。 湘南道場 : 0465-22-3005

【中部道場】

行 事	日	時 間	出 講 者
報 恩 日	1	13:00~15:00	岡野 英夫
感 謝 日	15	13:00~15:00	倉田 正治
青 年 講 座	1	10:00~12:00	安達 幹憲
修 法 相 談	12月は行われません		
健 康 相 談	15~16		健康指導委員で対応

※修法相談を希望される場合は中部道場にお問い合わせ下さい。 中部道場 : 052-451-4532

【関西道場】

行 事	日	時 間	出 講 者
報 恩 日	1	13:00~15:00	宮坂 保徳
感 謝 日	15	13:00~15:00	笹倉 範久
青 年 講 座	1	10:00~12:00	上薗 一樹
健 康 相 談	13~15		健康指導委員で対応